

生物の多様性と未来をつなぐ育種学ウェビナーシリーズ 【第4回】モデルからフィールドへ～基礎研究と現場をつなぐ育種学～

開催方法:オンライン配信

主催:日本学術会議 農学分科会・育種学分科会

気候変動や人口動態の変化、食料安全保障の課題が顕在化する中で、「育種」は安定した食料生産と社会課題の解決、そして地球環境の保全に直結する重要な領域として注目されています。本ウェビナーシリーズでは、作物・畜産・水産など多様な育種分野の第一線の専門家をお招きし、現場の最前線の課題から、人材育成・知的財産制度・社会との関わりまで、育種をめぐる多角的なテーマを掘り下げていきます。

開催日時:令和8年3月6日(金):12:00~13:30

開会のあいさつ; 江面 浩

日本学術会議連携会員/筑波大学生命環境系特任教授

話題提供1: ゲノム編集による「産業植物」の開発 —栄養繁殖作物ジャガイモと薬用植物カンゾウを例に—

村中 俊哉 氏

大阪大学 先導的学際研究機構 特任教授

話題提供2: ゲノム編集イネの開発最前線:モデルからフィールドへ —フィールド試験が示す新たな可能性—

小松 晃 氏

国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 生物機能利用研究部門 上級研究員

進行役: 門田 有希

日本学術会議連携会員/若手アカデミー幹事/岡山大学大学院環境生命自然科学研究科教授

お申込みは下記

<https://forms.gle/5xRDZwpJzFEAuK797>

お問い合わせ: 育種学分科会 担当 磯部 様子

sisobe@g.ecc.u-tokyo.ac.jp

